



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月7日

上場会社名 太陽化学株式会社

上場取引所 名

コード番号 2902 URL <http://www.taiyokagaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 長宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当兼業務支援担当兼企業統括部長 (氏名) 増川 尚利

TEL 059-340-0802

四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	9,697	3.6	1,001	27.1	1,035	135.7	682	138.9
29年3月期第1四半期	10,058	2.2	787	14.2	439	43.0	285	46.9

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,013百万円 (%) 29年3月期第1四半期 77百万円 (89.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	37.20	
29年3月期第1四半期	15.57	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	44,638	35,971	78.1
29年3月期	44,830	35,735	77.2

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 34,861百万円 29年3月期 34,625百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		10.00		40.00	50.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		10.00		26.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,400	2.1	1,800	14.2	1,750	45.6	1,100	36.0	59.96
通期	40,500	2.6	3,600	4.5	3,500	12.1	2,200	13.2	119.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	23,513,701 株	29年3月期	23,513,701 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期1Q	5,168,238 株	29年3月期	5,168,185 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	18,345,469 株	29年3月期1Q	18,345,536 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米国の政治的不透明感による影響や、世界的な地政学リスクの高まり等、先行きは不透明な状況となりました。

当事業の主要分野であります食品業界は、根強い節約志向により企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中で当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、引き続き対処すべき課題として

- ①市場変化への対応
- ②販売の強化（グローバル化）
- ③品質管理体制の維持・強化
- ④環境への取り組み
- ⑤人材育成
- ⑥業務改善による全体最適化

を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、96億97百万円（前年同四半期比3.6%減）となりました。営業利益は、原材料価格の低減等により10億1百万円（前年同四半期比27.1%増）となりました。経常利益は、為替差損の計上が前年同四半期より減少したこと等により10億35百万円（前年同四半期比135.7%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、6億82百万円（前年同四半期比138.9%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次のとおりであります。

■ ニュートリション事業

医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン（緑茶抽出物）、テアニン（機能性アミノ酸）、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。

水溶性食物繊維は、国内市場の医療用途は増加いたしました。欧米市場の医療用途及びサプリメント用途は減少いたしました。この結果、売上高は、前年を下回りました。

カテキンは、国内市場の飲料用途、アジア市場のサプリメント用途が増加いたしました。欧米市場のサプリメント用途は減少いたしました。この結果、売上高は前年を上回りました。

ミネラル製剤は、国内市場、欧州市場は増加いたしました。アジア市場は減少いたしました。この結果、売上高は前年を下回りました。

テアニンは、国内市場の飲料用途、サプリメント用途、化粧品用途及び米国市場のサプリメント用途が減少いたしました。結果、売上高は前年を下回りました。

ビタミン製剤は、国内市場の飲料用途が減少いたしました。結果、売上高は前年を下回りました。

以上の結果、売上高は、17億73百万円（前年同四半期比2.4%減）、営業利益は、3億46百万円（前年同四半期比0.4%減）となりました。

■ インターフェイスソリューション事業

乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品、トイレタリー業界等に、乳化剤等の品質改良剤を製造、販売しております。

化粧品、トイレタリー用途は国内、海外市場がともに増加いたしました。一般食品用途及び飲料用途は国内市場が減少いたしました。この結果、売上高は前年を下回りました。

以上の結果、売上高は、20億95百万円（前年同四半期比0.8%減）、営業利益は、3億88百万円（前年同四半期比22.4%増）となりました。

■ アグリフード事業

乳製品、飲料、菓子、パン、ハム・ソーセージ、即席めん、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、フルーツ加工品、農産加工品等の食品素材、品質改良剤、安定剤等を製造、販売しております。

鶏卵加工品のうち液卵加工品は、惣菜用途が増加いたしました。結果、売上高は前年を上回りました。また、粉末卵は、ハム・ソーセージ用途が減少いたしました。結果、売上高は前年を下回りました。この結果、売上高は前年を下回りました。

即席食品用素材は、アジア市場の即席めん用途が増加いたしました。結果、売上高は前年を上回りました。

フルーツ加工品は、冷菓用途が減少いたしました。結果、売上高は前年を下回りました。

安定剤は、医療用途及び冷菓用途が減少いたしました。結果、売上高は前年を下回りました。

以上の結果、売上高は、57億88百万円（前年同四半期比4.7%減）、営業利益は、2億58百万円（前年同四半期比115.2%増）となりました。

■ その他

料理飲食等の事業を行なっております。

売上高は、40百万円（前年同四半期比24.8%減）、営業利益は、7百万円（前年同四半期比250.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して1億91百万円減少して、446億38百万円となりました。主な資産の変動は、受取手形及び売掛金の増加1億60百万円、有形固定資産のその他の増加10億90百万円、投資その他の資産の投資有価証券の増加3億76百万円、現金及び預金の減少15億39百万円、原材料及び貯蔵品の減少1億42百万円です。

負債は前連結会計年度末に比較して4億27百万円減少して86億66百万円となりました。主な負債の変動は、支払手形及び買掛金の増加2億61百万円、固定負債のその他の増加1億8百万円、未払法人税等の減少3億79百万円、流動負債のその他の減少2億99百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比較して2億35百万円増加して359億71百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益6億82百万円の計上、その他有価証券評価差額金の増加2億66百万円、配当金の支払による減少7億34百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の77.2%から78.1%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,270,940	6,731,569
受取手形及び売掛金	10,359,189	10,519,777
商品及び製品	2,962,568	2,925,774
仕掛品	389,635	371,996
原材料及び貯蔵品	1,798,224	1,655,274
その他	1,042,257	1,027,726
貸倒引当金	△12,005	△16,527
流動資産合計	24,810,810	23,215,591
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,818,480	4,753,477
土地	6,038,562	6,038,738
その他(純額)	2,386,134	3,476,215
有形固定資産合計	13,243,177	14,268,431
無形固定資産		
のれん	28,863	24,800
その他	201,132	206,530
無形固定資産合計	229,996	231,330
投資その他の資産		
投資有価証券	4,332,863	4,709,393
その他	2,230,420	2,226,713
貸倒引当金	△16,950	△12,950
投資その他の資産合計	6,546,333	6,923,157
固定資産合計	20,019,507	21,422,919
資産合計	44,830,318	44,638,510

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,302,282	5,563,368
未払法人税等	690,436	310,564
賞与引当金	238,236	148,191
その他	1,635,239	1,335,558
流動負債合計	7,866,194	7,357,683
固定負債		
退職給付に係る負債	218,389	222,856
役員退職慰労引当金	386,838	354,704
その他	622,926	731,487
固定負債合計	1,228,154	1,309,048
負債合計	9,094,348	8,666,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,918,674	7,918,674
利益剰余金	22,045,797	21,994,009
自己株式	△4,612,572	△4,612,630
株主資本合計	33,082,521	33,030,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,481,176	1,747,489
繰延ヘッジ損益	9,230	△1,285
為替換算調整勘定	104,432	132,827
退職給付に係る調整累計額	△52,170	△47,979
その他の包括利益累計額合計	1,542,669	1,831,051
非支配株主持分	1,110,778	1,110,052
純資産合計	35,735,969	35,971,779
負債純資産合計	44,830,318	44,638,510

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	10,058,123	9,697,876
売上原価	7,833,100	7,194,154
売上総利益	2,225,022	2,503,721
販売費及び一般管理費	1,437,048	1,501,873
営業利益	787,974	1,001,848
営業外収益		
受取利息	8,304	7,089
受取配当金	17,709	18,053
持分法による投資利益	-	10,559
その他	6,484	26,483
営業外収益合計	32,499	62,187
営業外費用		
支払利息	5,945	3,050
貸与資産減価償却費	1,584	2,128
為替差損	361,610	11,267
持分法による投資損失	7,853	-
その他	4,193	12,044
営業外費用合計	381,186	28,490
経常利益	439,287	1,035,544
特別損失		
固定資産除売却損	13,209	1,421
投資有価証券評価損	-	1,000
特別損失合計	13,209	2,421
税金等調整前四半期純利益	426,077	1,033,123
法人税等	115,362	321,473
四半期純利益	310,715	711,649
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,070	29,243
親会社株主に帰属する四半期純利益	285,644	682,406

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	310,715	711,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100,984	261,817
為替換算調整勘定	△338,006	40,768
退職給付に係る調整額	3,466	4,191
持分法適用会社に対する持分相当額	806	△4,642
その他の包括利益合計	△232,748	302,135
四半期包括利益	77,966	1,013,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,418	970,787
非支配株主に係る四半期包括利益	△80,451	42,997

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリューション 事業	アグリ フード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,816,283	2,112,419	6,075,746	10,004,449	53,673	10,058,123
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,816,283	2,112,419	6,075,746	10,004,449	53,673	10,058,123
セグメント利益	347,937	317,656	120,125	785,719	2,254	787,974

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリューション 事業	アグリ フード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,773,418	2,095,935	5,788,175	9,657,529	40,347	9,697,876
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,773,418	2,095,935	5,788,175	9,657,529	40,347	9,697,876
セグメント利益	346,512	388,924	258,519	993,957	7,891	1,001,848

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメントの組替について)

当第1四半期連結会計期間から「インターフェイスソリューション事業」に含まれていた一部製品につきましては、事業部製品の再編により、天然物としての特性を活かした販売戦略にするため、「アグリフード事業」に含めて記載しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。